

令和2年度 愛知県・名古屋市委託研修会

「127. 看護職員認知症対応力向上研修①」開催要領

- 1 研修目的 認知症の基本的知識を入院から退院までのプロセスに沿って学ぶとともに、認知症の特徴等に対する実践的な対応を習得し、所属施設の看護職員に対して伝達することで、施設における認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築にいかす。
- 2 到達目標
 - (1)勤務病院の医療従事者向けに認知症に関する知識を普及することができる。
 - (2)入院及び退院時支援に必要となるアセスメントを実施し、適切に院内外と連携することができる。
 - (3)せん妄について、認知症との違いを理解し、特有の対応を適切に行うことができる。
 - (4)各施設の実情に応じた認知症への対応方法を検討し、適切なマネジメント体制を構築することができる。
 - (5)自施設における看護職員への研修を実施することができる。
- 3 開催日 令和2年8月31日(月)、9月1日(火)・2日(水) 3日間
- 4 時間・内容 別表参照
- 5 会場 **愛知県産業労働センター（ウィンクあいち） 12階 1203会議室**
名古屋市中村区名駅四丁目4番38号
- 6 講師
栗本 聡美（JCHO 中京病院 老人看護専門看護師）
加藤 滋代（藤田医科大学病院 認知症看護認定看護師）
谷 知美（名古屋市立東部医療センター 認知症看護認定看護師）
辻野 美帆（JCHO 中京病院 認知症看護認定看護師）
徳田美和子（AOI 名古屋病院 認知症看護認定看護師）
堀部 泰行（名城病院 認知症看護認定看護師）
今井智香江（JA 愛知厚生連江南厚生病院 副看護部長）
山田 順子（名古屋女子大学健康科学部看護学科 講師）
- 7 受講定員 80名(40組)
- 8 対象者 医療機関等に勤務する指導的役割の看護職員
- 9 受講料 無料（※）
- 10 申込方法 同一施設から**2人1組一葉（専用申込用紙）**を記入の上、**郵送**する。
（専用申込用紙は**ホームページからダウンロード**する）
申込区分 II期
- 11 申込先 〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26番18号
愛知県看護協会 教育センター
TEL 052-871-0761
- 12 受講可否 施設代表者をとおして郵送にて通知する。
- 13 修了証 **全時間を受講した者に、愛知県知事または名古屋市長名で発行する。**
- 14 その他
 - ・本研修は診療報酬算定における認知症患者のアセスメント方法等に係る適切な研修です。
 - ※ **研修最終日及び研修後（効果判定）のアンケートにご協力(回答)ください。**
 - ※ **研修終了後は、施設内で研修（伝達講習含む）を企画・実施**することで、看護職員の認知症対応力向上に努める。
 - ※ **研修修了者は、修了証番号・氏名・勤務先医療機関等を愛知県及び名古屋市中で名簿管理され、地域包括支援センター等に情報提供されることをご承知ください。**

別表 看護職員認知症対応力向上研修プログラム

月日	時間	形態	内容	講師 (敬称略)
8/31 (月)	9:45～ 11:15 (90分)	講義	I 基礎知識 1) 急性期病院における認知症の現状と一般病院に求められる役割 (基) (対) 2) 認知症の病態・症状と認知症患者の身体管理(基) (対) ①認知症患者の世界観・中核症状の理解と基本的な評価方法 (アセスメント) (対) ②認知症の疾病経過の理解と疾病段階を踏まえた看護・支援のあり方 (対) ③認知症を疑った場合の初期対応としての看護と初期集中支援 (対)	栗本 聡美 (JCHO 中京病院 老人看護専門看護師)
	11:25～ 12:55 (90分)	講義	3) 認知機能障害に配慮したコミュニケーションの基本 (基) 4) 認知機能障害に配慮した身体管理 (基)	
	13:45～ 15:15 (90分)	講義	5) せん妄の基本的な知識、予防、発見、対応 (基) ①せん妄の病態、診断・同定、認知症との鑑別 (対) ②せん妄の対策(予防及び早期発見・早期対応) (対)	
	15:25～ 16:25 (60分)	講義	6) 認知症ケアに必要な管理者としての視点と知識 ①情報共有、退院支援・調整、身体拘束、治療同意についての基本的な知識(基) ②管理者による取り組みの重要性(基) ③認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援(基)	
9/1 (火)	9:30～ 10:50 (80分)	講義	II 対応力向上のための知識 1) 行動・心理症状 (B P S D) の理解と看護 ①行動・心理症状(BPSD)の予防と病棟での環境整備 (対) ②行動・心理症状(BPSD)の理解とアセスメント、看護方法(対)	【認知症看護認定看護師】 加藤 滋代 (藤田医科大学病院) 谷 知美 (名古屋市立東部医療 センター) 辻野 美帆 (JCHO 中京病院) 徳田美和子 (AOI 名古屋病院) 堀部 泰行 (名城病院)
	11:00～ 12:30 (90分)	演習	【事例検討】 B P S Dの理解と看護計画の立案 (対)	
	13:30～ 15:10 (100分)	講義	2) 退院支援・調整、地域連携 ①チームや病棟内、部門間での情報共有(対) ②退院支援・調整での課題(再入院や緊急入院を防ぐためのコーディネート) (対) ③地域連携(在宅医療、地域包括ケアの知識、退院時の情報提供、介護施設との連携) (対)	
	15:20～ 16:20 (60分)	演習	【事例検討】 退院支援・調整に関する事例検討 (対)	
9/2 (水)	9:00～ 10:30 (90分)	講義	III マネジメント 1) 認知症に関する事例収集と看護のフィードバック体制 (マ) 2) 病棟内・部門間での情報共有と人員配置 (マ) 3) コンサルテーション体制 (マ) 4) 標準的対応手順・マニュアルの検討・整備 (マ)	今井 智香江 (JA 愛知厚生連 江南厚生病院 副看護部長)
	10:40～ 12:40 (120分)	演習	5) 自施設の現状の検討と振り返り (マ) 6) マネジメント体制の検討	
	13:30～ 15:00 (90分)	講義	7) スタッフ教育 ①施設内での目標設定・研修計画立案 (マ) ②研修の企画・運営のポイントと教育方法 (マ)	山田 順子 (名古屋女子大学 健康科学部看護学科 講師)
	15:10～ 17:10 (120分)	演習	8) 研修計画の立案と指導計画 (マ)	